

# 北日本新聞

2019年（令和元年）

5月21日  
火曜日

## 金属加工のコンチネンタル

### 受注好調立山に新工場

金属加工のコンチネンタル（富山市水橋沖、岡田幸雄社長）は、立山町の塚越地区企業団地に新工場を建設する。2021年9月の稼働を目指す。用地取得を含めた投資額は約4億円を見込む。

同社は金属鋼板を使用した工作機械のカバーや半導体製造装置の部品など毎月約3500種類の製品を少量多品種で生産。生産工程にITを導入することで、生産性向上と短納期を実現している。年間の売上高は約10億円で、従業員は85人。

現在の工場が手狭になり、工作機械メーカーからの受注が増えたことで生産能力を強化し、機械加工部門を新工場に移す。主な取引先はキタムラ機械やヤマザキマザック、オークマなど県内外の工作機械メーカー。新工場の敷地は

約7500平方メートル。20年秋に立山町が用地造成を終えた後、町から取得し着工する。同町は企業団地の造成整備費1億360万円を町地域開発事業特別会計補正予算案に盛り込み、20日の町臨時議会で可決された。